

東京大学 職域・地域架橋型 価値に基づく支援者育成

このプログラムは患者の価値にもとづき、医療における多職種協働や
医療と地域をつなぐ支援のできる人材を育成することを目的としています。

3
essential
capabilities

Co-production-----当事者と回復を共同創造できる

Trauma-informed care -----トラウマが存在する可能性を熟知して支援にあたる

Organizational change ---このような理念を実践できるよう組織を変革する

これらを身につけるよう実践的な学習を深めることができる内容となっています。

C-1 心理支援職



医療をはじめとする様々な領域で心理支援職に従事する社会人、あるいはそれらの職を目指す学生等が主な対象です。看護、精神保健福祉、作業療法、薬剤、栄養、学校教育など多様な職域の社会人で、個人の心理・行動のアセスメントにもとづく支援力向上を目指す方等も対象に含みます。

C-2 (地域) 対人支援職



行政、社会福祉、学校教育、NPO法人等で対人支援職に従事する社会人、あるいはそれらの職を目指す学生等が主な対象です。

医療職等で地域との連携について学びたい方、心理職等個人の支援にあたる方で社会的支援の視座を深めたい方等も対象に含みます。

このプログラムは東京大学の履修証明プログラムとして実施され、
修了者には履修証明書が授与されます。

開催場所: 東京大学本郷キャンパス・医学部附属病院内会議室

応募資格: (1) (2) 双方を満たす方

- (1) 4年制大学卒業生、または大学卒業者と同等以上の学力を有すると認められた22歳以上の方
- (2) 医療、学校、行政(保健・福祉)などの領域で対人支援職を目指す方。または既に対人支援に従事しており、さらに高度な知識・技術を身につけようとする方

応募方法: ①履歴書(書式自由)

- ②志望理由書(A4 1枚程度)
- ③応募資格(1)を証明する書類(卒業証書、在学証明書等)の写し等
- ④応募資格(2)を証明する書類(免許等)の写し等。資格未取得等の場合には必須ではない

選考方法: 1次選考: 書類審査、 2次選考: 面接

定員: 20名——職域架橋型コース(C-1) 10名、
地域連携型コース(C-2) 10名

出願期間: 平成31年(2019年)1月15日~平成31年(2019年)2月15日

選考発表及び受講手続き:

平成31年(2019年)2月28日
選考の結果を同日中に電子メールにて通知
受講を認められた方には関係書類を送付

受講料: 各コース9万円(学生は5万円)

※他コースの受講者が本コース講義を単回受講する場合は、1.5万円/日(学生は0.8万円/日)の受講料となります。

C-1とC-2は別々のコースとなっております。C-1(奇数月)、C-2(偶数月)となっておりますので、両方の申込みも可能です。

問い合わせ先: 〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学 CRC A棟 1階 TICPOC事務局
TEL:03-3815-5411(内線36052)
E-mail:utokyo.co.production.training@gmail.com
URL:http://co-production-training.net/



C-1 職域架橋連携コース

●精神医学 ●発達 ●研究法 ●精神分析 ●心理療法 ●心理検査

5/11	± AM	●精神科受診見立て・見極め	東京大学医学部附属病院 近藤伸介 特任講師
	PM	●自閉スペクトラム症のアセスメント	名古屋学芸大学ヒューマンケア学部子どもケア学科 黒田美保 教授
5/12	目 AM	●質的研究入門ーデータ分析のはじめの一歩	東京大学大学院教育学研究科 能智正博 教授
	PM	●精神分析という視点	上智大学総合人間科学部心理学科 藤山直樹 教授
7/20	± AM	●精神疾患Ⅰ 発達障害・児童思春期	東京大学大学院医学系研究科 金生由紀子 准教授
	PM	●自閉スペクトラム症の支援現場の実際	ときわこども発達センター 館農幸恵 児童精神科医 (株)スペクトラムライフ 桑野恵介 代表
7/21	目 AM	●コラージュ療法の理論と実践ーコラージュ・ボックス法を中心に	鹿児島大学大学院臨床心理学研究科 中原睦美 教授
	PM	●知能検査や認知機能検査によるアセスメント	上智大学総合人間科学部心理学科 松田修 教授
9/21	± AM	●精神疾患Ⅱ	東京大学大学院医学系研究科 里村嘉弘 助教
	PM	●自閉スペクトラム症の早期支援	名古屋学芸大学ヒューマンケア学部子どもケア学科 黒田美保 教授
9/22	目 AM	●研究法～精神保健 / 医学研究の始め方～	東京大学大学院医学系研究科 笠井清登 教授
	PM	●精神医学の多元的理解	京都大学大学院医学系研究科 村井俊哉 教授
11/9	± AM	●精神科薬物療法	東京大学大学院医学系研究科 神出誠一郎 准教授
	PM	●認知行動療法 1	上智大学総合人間科学部心理学科 毛利伊吹 准教授
11/10	目 AM	●医療領域でのコラージュ療法ーターミナル領域でのコラージュ・ボックス法の実際	鹿児島大学大学院臨床心理学研究科 中原睦美 教授
	PM	●力動的視点によるチーム支援の有効化	京都大学 松木邦裕 名誉教授
1/18	± AM	●多職種連携	東京大学医学部附属病院 市橋香代 特任講師
	PM	●認知行動療法 2	上智大学総合人間科学部心理学科 毛利伊吹 准教授
1/19	目 AM	●学校臨床におけるコラージュ療法ースクールカウンセラー 場面でのコラージュ療法導入の可能性	鹿児島大学大学院臨床心理学研究科 中原睦美 教授
	PM	●見えない心を可視化するー心理アセスメントによるケース理解ー	中村心理療法研究室 中村紀子 国際ロールシャッハ学会会長 臨床心理士
3/14	± AM	●精神疾患と脳	東京大学大学院医学系研究科 笠井清登 教授
	PM	●認知行動療法 3	上智大学総合人間科学部心理学科 毛利伊吹 准教授
3/15	目 AM	●論文執筆～研究のまとめかた～	東京大学大学院医学系研究科 笠井清登 教授
	PM	●ストレスケアのためのコーピングと認知行動療法	洗足ストレスコーピング・サポートオフィス 伊藤絵美 所長

C-2 地域連携型コース

午前：研究と実践の方法論講義、ミニレクチャー等 午後：講師講演、質疑応答、講師を囲んでの座談会等

4/13	±	精神保健医療福祉と精神医学研究のリカバリーープログラムの導入に代えてー	東京大学大学院医学系研究科 笠井清登 教授
4/14	目	当事者研究と専門知ー精神保健サービスの共同創造の方法論を目指してー	東京大学先端科学技術研究センター 熊谷晋一郎 准教授
6/15	±	対人支援サービスの質の評価とPDCA サイクル	東京大学大学院工学研究科 水流聡子 特任教授
6/16	目	全市民を対象とした地域包括ケアと横串としてのメンタルヘルス	川崎市精神保健福祉センター 竹島正 所長
8/17	±	災害時の個人と地域のメンタルヘルス	東京大学大学院医学系研究科 笠井清登 教授
8/18	目	虐待対策と子ども家庭支援	文京区子ども家庭支援センター職員 / 祐ホームクリニック 夏堀龍暢 精神科医師
10/19	±	死生学の展開とグリーフケア	上智大学グリーフケア研究所 島藺進 教授
10/20	目	トラウマ支援の実際	公益社団法人被害者支援都民センター 鶴田信子 心理相談担当責任者
10/20	目	臨床心理学と人類学ー当事者との共同創造に向けた心理臨床の再考ー	十文字学園女子大学人間生活学部人間発達心理学科 東畑開人 講師
12/21	±	ピアサポートとリカバリー	東京大学大学院医学系研究科 宮本有紀 准教授
12/22	±	精神保健研究の方法論	国立精神・神経医療研究センター 山口創生 室長
2/15	目	学校メンタルヘルスと若者の自殺対策	NPO法人 Llight Ring. 石井綾華 代表理事
2/16	±	薬物依存症をもつ人を地域で支える	国立精神・神経医療研究センター 松本俊彦 部長